

Actual result

活動実績

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰。

毎年献血に多大なご協力をいただいた皆様に感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。平成29年度も多くの個人・団体の皆様にご協力をいただき功労表彰を授与させていただきました。血液事業は、こうした多くの方々に支えられています。

□ 献血功労表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状

愛知産業大学工業高等学校
株式会社マキタ 岡崎工場
立正佼成会 一宮教会

3団体

三菱重工業株式会社 岩塚工場
アイシンAW 蒲郡工場
株式会社 ニデック
株式会社 松尾製作所
津島ライオンズクラブ
布目電機株式会社 佐織工場

厚生労働大臣感謝状

愛知県食品衛生協会知多支部
株式会社中部
株式会社ヨロズ愛知
ゴムノイナキ株式会社
大日本印刷株式会社
大和化成工業株式会社
豊橋中ライオンズクラブ
日新製鋼株式会社ステンレス製造本部衣浦製造所
パナソニックエコシステムズ労働組合
半田市赤十字奉仕団
マスプロ電工株式会社

11団体

○献血功労団体 11団体

イオンモール株式会社 mozoワンダーシティ
イオンモール名古屋みなと
岡崎さくらライオンズクラブ
春日井さくらライオンズクラブ
特定非営利活動法人ボラみみより情報局 献血チーム
名古屋シニアライオンズクラブ
Vタウン大口店
ユニー株式会社 アビタ蒲郡店
ユニー株式会社 アビタ名古屋南店
大府ライオンズクラブ
刈谷市赤十字奉仕団

日本赤十字社表彰

○日本赤十字社社長感謝状(30年以上) 16団体

アイシン精機株式会社 西尾工場
医療法人 桜桂会
内浜化成株式会社
尾張東食品商業協同組合
株式会社三琇プレジジョン
株式会社野口製作所
株式会社 豊幸
京ヶ峰岡田病院
高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社
CKD株式会社
社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院
名古屋記念病院
特定非営利活動法人 春日井明るい社会づくりの会
幡豆工業株式会社
フタバ産業株式会社 本社・岡崎工場
村田機械株式会社 犬山事業所

○金色有功章(献血100回以上) 313名

○金色有功章(20年以上) 12団体

愛知県環境調査センター
天理教中村区支部
はびなす
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
医療法人 借行会 名古屋共立病院
東洋電機株式会社
大同メタル工業株式会社 犬山事業所
フタバ産業株式会社 幸田工場
新協技研株式会社
大府ライオンズクラブ
知立ライオンズクラブ
瀬戸ライオンズクラブ

○銀色有功章(献血70回以上) 453名

○銀色有功章(15年以上) 9団体

愛知県信用農業協同組合連合会
株式会社サンゲツ
株式会社エバ
水野まつり実行委員会
認定特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会
愛知県花き温室園芸組合連合会 カーネーション部会
株式会社エルエル
イオンモール株式会社 イオンモール岡崎
新城ライオンズクラブ

○支部長感謝状(金枠 10年以上) 18団体

名古屋学芸大学 ユネスコクラブ
名古屋国税局
名古屋中税務署
リゾートトラスト株式会社
株式会社三洋物産
名古屋市中村区 歯科医師会
あいち海部農業協同組合
あいち知多農業協同組合
リョービグループ

東芝ライフスタイル株式会社 愛知事業所
犬山市消防本部
アイシン精機株式会社 新豊工場
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 岡崎工場
株式会社平松食品
株式会社愛知ニコン
一般社団法人 名古屋中村青色申告会
イオンモール株式会社
イオン春日井ショッピングセンター
イオンリテール株式会社 イオンモール扶桑

○支部長感謝状(銀枠 5年以上) 20団体

一般社団法人 生命保険協会 愛知県協会
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 名古屋支店
トヨタ自動車株式会社 大林地区寮生会
刈谷税務署
株式会社シンテックホズミ
テクノハマ株式会社
小島産業株式会社
愛知県立知立高等学校
愛知信用金庫
岩倉市消防本部
和光純業工業株式会社 愛知工場
愛知産業大学
プリ・テック株式会社
東陽倉庫株式会社
赤見校下成人学習部
イオンリテール株式会社 イオン守山店
株式会社義津屋名古屋名西店
フィール入場店
ウイングタウン
フィールいづも

(順不同・敬称略)

愛知県知事感謝状

○300回献血者 33名

○献血協力団体 23団体

アイシン機工株式会社 刈谷工場
愛知淑徳大学 大学祭実行委員会
安城学園高等学校
エヌティーテクノ株式会社
学友会 愛知工業大学 大学祭実行委員会
株式会社ISOWA
株式会社アンレット
極東開発工業株式会社 名古屋工場
佐川急便株式会社 本社(中部)
サンエイ糖化株式会社
新明工業株式会社
瀬戸市消防本部
東久株式会社
豊田市公設地方卸売市場協会
名古屋女子大学 大学祭実行委員会
BX紅雲株式会社
ホーユー株式会社 生産・物流本部

Actual result

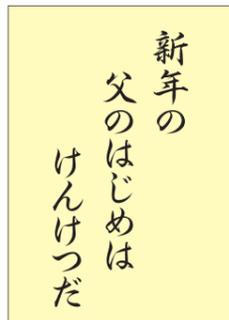
幅広い活動で献血協力を呼びかける。

平成29年度に行った主な活動内容です。
献血協力を呼びかけるキャンペーン活動から血液事業を啓発する活動まで幅広く展開し、血液の確保に向けて広く呼びかけを行いました。

□ 平成29年度日誌 Diary



■第12回「赤十字・いのちと献血」俳句コンテスト



愛知赤十字血液センター所長賞

6月「世界献血者デー」キャンペーン
6月23日～10月13日 第12回「赤十字・いのちと献血」俳句コンテスト

June

- 5日 サマー献血キャンペーン<愛知県学生献血連盟>
[名古屋港水族館JETTY] 献血実績:57名
- 14～16日 官庁街献血(愛知県庁 西庁舎駐車場) 献血実績:482名
- 10,18,22,23日 夏休み親子血液教室 [武豊・豊橋・瀬戸]
- 27日 サマー献血キャンペーン豊橋
<愛知県学生献血連盟 豊橋支部> 献血実績:52名

August



■サマー献血キャンペーン



■夏休み親子血液教室



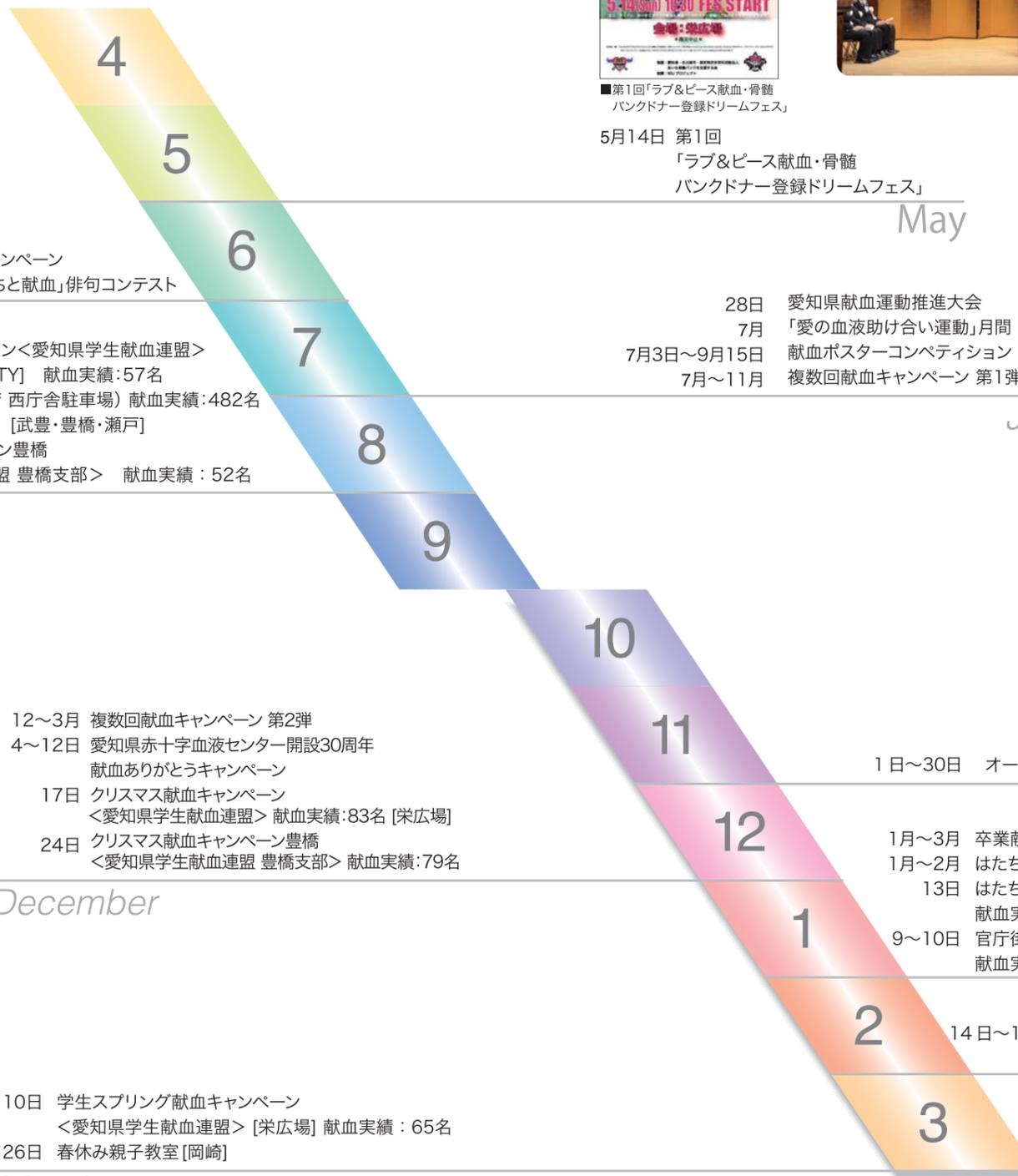
■夏休み親子血液教室



■クリスマス献血キャンペーン



■卒業献血キャンペーン



- 12～3月 複数回献血キャンペーン 第2弾
- 4～12日 愛知県赤十字血液センター開設30周年 献血ありがとうキャンペーン
- 17日 クリスマス献血キャンペーン
<愛知県学生献血連盟> 献血実績:83名 [栄広場]
- 24日 クリスマス献血キャンペーン豊橋
<愛知県学生献血連盟 豊橋支部> 献血実績:79名

December

- 10日 学生スプリング献血キャンペーン
<愛知県学生献血連盟> [栄広場] 献血実績:65名
- 26日 春休み親子教室[岡崎]

March



■第1回「ラブ&ピース献血・骨髄バンクドナー登録ドリームフェス」

5月14日 第1回
「ラブ&ピース献血・骨髄バンクドナー登録ドリームフェス」



■愛知県献血運動推進大会

- 28日 愛知県献血運動推進大会
- 7月 「愛の血液助け合い運動」月間
- 7月3日～9月15日 献血ポスターコンペティション
- 7月～11月 複数回献血キャンペーン 第1弾

May

July

1日～30日 オータムキャンペーン

November

- 1月～3月 卒業献血キャンペーン
- 1月～2月 はたちの献血キャンペーン
- 13日 はたちの献血キャンペーンイベント
献血実績:44名
- 9～10日 官庁街献血(愛知県庁 西庁舎駐車場)
献血実績:446名

January

14日～19日 豊田献血ルーム開設20周年 ありがとうキャンペーン

February



■400mL複数回献血キャンペーン



■第6回 献血ポスターコンペティション



■7月愛の血液助け合い運動 月刊ポスター



■献血ポスターコンペティション 愛知県赤十字血液センター所長賞 受賞者:愛知県立犬山高等学校 宮川 奈々 様



■愛知県赤十字血液センター開設30周年 献血ありがとうキャンペーン



■はたちの献血キャンペーンイベント

Actual result

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける。

昭和37年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため時代とともに、着実な歩みが続けています。

沿革 History

	愛知の動き	全国の動き
1960	昭和37.10 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設	昭和27.4 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設
	昭和39.12 愛知県赤十字血液センターと名称を改める	昭和31.6 「採血及び供血あっせん業取締法」公布
	昭和41.6 採血出張所を開設(豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸)	昭和35.8 「薬事法」公布
	昭和43.1 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県)の調整センターとして保存血液の需給調整を開始	昭和39.8 「献血の推進について」閣議決定
	昭和43.11 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設(豊橋市橋良町)、愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始	昭和44 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止
	昭和44.8 愛知県Ph(一)友の会を結成	
	昭和45.4 血液低比重者の諸検査開始	
	昭和46.3 日赤愛知県支部との合同庁舎(名古屋市中区三の丸)に移転、業務開始	
	昭和46.4 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立	
	昭和47.3 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる	
昭和48.4 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始	昭和49 民間商業血液銀行が預血制度廃止(献血100%体制確立)	
昭和49.4 血液代金自己負担金給付制度実施	昭和50 日本民間放送連盟主催「第1回はたちの献血」キャンペーン開始	
昭和52.4 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める		
昭和54.4 採血が瓶採血からビニールバック採血に切替る		
昭和54.11 開設以来、献血者150万人達成		
1980	昭和57.2 分室を中区丸の内三丁目5番地10号住友商事丸の内ビル9階に新設	
	昭和57.4 全国一斉に献血手帳の様式一部改正(供給欄削除)献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始	
	昭和57.6 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める	
	昭和59.4 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始	
	昭和61.3 事務所棟増築完成(豊橋赤十字血液センター)	
	昭和61.4 名古屋市中区錦三丁目22番14号(マルニビル5階)に栄出張所(献血ルーム)を開設	
	愛知県学生献血連盟発足	
	昭和61.10 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施	昭和58.6 日本赤十字社血漿分画事業開始
	昭和62.1 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所(献血車基地)を開設	昭和61.4 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用(400mL、成分採血導入)
	昭和62.3 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始(愛知県赤十字血液センター)	昭和61 HIV抗体検査及びHTLV-I抗体検査を開始
昭和62.4 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所(献血ルーム)を開設		
昭和62.8 西三河部への輸血用血液の直配開始		
昭和62.9 第11回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催		
昭和63.7 輸血用血液の全面直配開始(豊橋赤十字血液センター)		
昭和63.10 名古屋市千種区星が丘元町1502番地(第一星ヶ丘ビル2階)に星ヶ丘出張所(献血ルーム)を開設		
平成 1.1 愛知県内の献血者延500万人達成	平成1 HbC抗体、HCV抗体検査開始	
1990	平成 2.3 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始(豊橋赤十字血液センター)	平成2 民間製薬会社による有償採漿中止
	平成 2.6 名古屋市中区栄三丁目15番地33号(栄ガスビル9階)に栄出張所(献血ルーム)を移転開設	
	平成 3.3 岡崎市康生通西2丁目20番地(シビコ5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を開設	
	平成 3.12 血液センター組織に地方骨髓データセンター設置	
	平成 4.6 名古屋市中村区名駅四丁目26番地7号(名駅UFビル5階)に名古屋駅前出張所(献血ルーム)を開設	
	平成 4.11 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(愛知県赤十字血液センター)	平成 4.1 赤血球M・A・P「日赤」の製造承認許可
	平成 5.4 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(豊橋赤十字血液センター)	平成 5.8 「自己血輸血協力要綱」作成
	平成 5.10 三の丸出張所を名古屋市中区白壁一丁目50番地(愛知県白壁庁舎内)に白壁出張所(献血ルーム)として移転開設	平成 7.4 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更
	平成 6.1 自己血輸血協力開始	平成 7.7 統一した献血申込書及び問診票導入
	平成 6.3 愛知県内血液センター需給計画委員会設置	
平成 6.4 輸血用血液への放射線照射協力開始(愛知県赤十字血液センター)		
平成 6.9 輸血用血液への放射線照射協力開始(豊橋赤十字血液センター)		
平成 7.3 第43回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催		
平成 8.10 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約		
平成 9.4 東海北陸8県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始(豊田市若宮町一丁目57番地1(A館 T-FACE9階)に豊田出張所(献血ルーム)を開設	平成10.6 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始	
平成 9.7 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約	平成11.4 血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ	
平成 9.10 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	平成11.5 献血者情報の全国一元管理システム稼働	
平成11.4 県内血液センター一体運営開始。これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約	平成11.10 HTLV-I抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更	
平成11.8 名古屋市中区金山町1-202(東和ビル(メガネプラザビル)7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設	核酸増幅検査(NAT)実施の輸血用血液を供給開始	
平成11.11 愛知県赤十字血液センター北館完成		

2000

	愛知の動き	全国の動き
平成12.3	愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成	平成14.4 HCV抗体陽性者への通知基準の変更
平成13.2	名古屋市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルディング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設	平成14.7 薬事法及び採血及び供血あっせん業取締法の一部を改正する法律の公布「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布
平成13.9	第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催	平成14.8 有償採血の禁止
平成15.2	愛知県内の献血者延1,000万人達成	平成15.7 「薬事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行
平成15.3	星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所	平成16.1 安全対策に対する日本赤十字社の取組み(8項目)
平成15.5	岡崎市明大寺町字寺東1-1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設	平成16.10 献血受付時の本人確認実施開始
平成16.6	第二次全国統一システム稼働	日本赤十字社血液事業本部設置
平成17.1	新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成	平成17.4 改正薬事法施行
平成17.6	愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置	平成17.6 問診による欧州渡航歴の献血制限開始
平成17.10	白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約	平成17.7 6か月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(FFP)の供給開始
	愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	平成18.3 タッチパネル方式による問診回答方式の導入
平成18.3	複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立	成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始
平成18.9	白壁出張所(献血ルーム)の閉所	平成18.8 人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロビン」販売開始
平成18.10	名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設	平成18.9 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始
	岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約	平成18.10 献血手帳の磁気カード化開始
	成分採血(血小板)の初流血除去開始	平成19.1 全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始
平成19.2	全血採血の初流血除去開始	平成19.8 全血採血由来保存前白血球除去血漿製剤供給開始
	静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約	平成19.11 血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更
平成19.5	三重県赤十字血液センターとの検査業務集約	平成20.7 初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始
平成20.1	成分採血(血漿)の初流血除去開始	平成21.3 糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始
平成20.6	岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約	平成21.10 血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更
平成20.8	製剤ラベルの変更	
平成21.4	三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約	平成22.1 英国滞在歴に関する献血制限の緩和
平成21.11	第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催	平成22.2 販売名変更代替新規承認品目濃厚血小板-LR「日赤」、濃厚血小板HLA-LR「日赤」、照射濃厚血小板-LR「日赤」、照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始。新鮮凍結血漿-LR「日赤」の製造開始。
		平成22.12 血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充
平成22.5	第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催	平成23.4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。
平成23.10	JRセントラルタワーズ20階に名古屋駅前出張所を移転開設	平成26.6 血液事業情報システム導入
平成23.11	愛知県赤十字血液センター製造棟完成	平成26.8 特殊製剤国内供給向上対策事業の実施
平成24.3	静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約	個別核酸増幅検査(NAT)の導入
平成24.4	広域事業運営体制開始	平成28.4 ALT検査による製品除外基準の変更
	製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始	平成28.9 照射洗浄血小板-LR「日赤」、照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始
	愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める	
平成25.4	県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域⇄愛知県西尾張地域)	
平成26.4	豊橋出張所を豊橋事業所に改める	
平成26.7	第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催	
平成29.4	金山出張所と刈谷出張所の閉所	
	JRゲートタワー26階に名古屋駅前出張所を拡張	

2010

	愛知の動き	全国の動き
平成22.5	第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催	平成22.1 英国滞在歴に関する献血制限の緩和
平成23.10	JRセントラルタワーズ20階に名古屋駅前出張所を移転開設	平成22.2 販売名変更代替新規承認品目濃厚血小板-LR「日赤」、濃厚血小板HLA-LR「日赤」、照射濃厚血小板-LR「日赤」、照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始。新鮮凍結血漿-LR「日赤」の製造開始。
平成23.11	愛知県赤十字血液センター製造棟完成	平成22.12 血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充
平成24.3	静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約	平成23.4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。
平成24.4	広域事業運営体制開始	平成26.6 血液事業情報システム導入
	製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始	平成26.8 特殊製剤国内供給向上対策事業の実施
	愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める	個別核酸増幅検査(NAT)の導入
平成25.4	県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域⇄愛知県西尾張地域)	平成28.4 ALT検査による製品除外基準の変更
平成26.4	豊橋出張所を豊橋事業所に改める	平成28.9 照射洗浄血小板-LR「日赤」、照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始
平成26.7	第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催	
平成29.4	金山出張所と刈谷出張所の閉所	
	JRゲートタワー26階に名古屋駅前出張所を拡張	

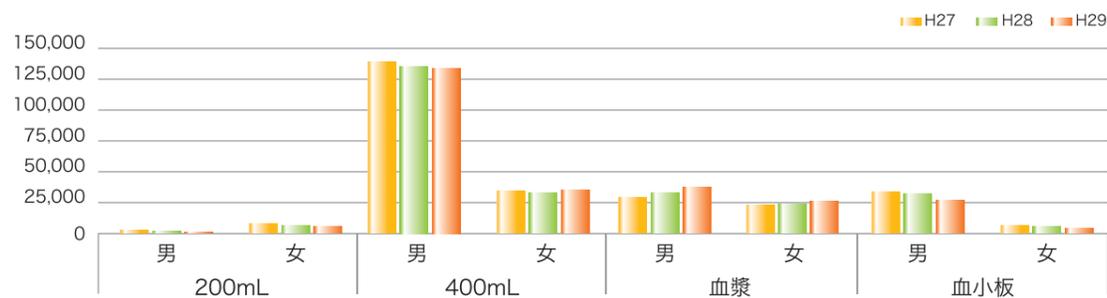
Actual result

献血種別の推移 Blood donation type of transition

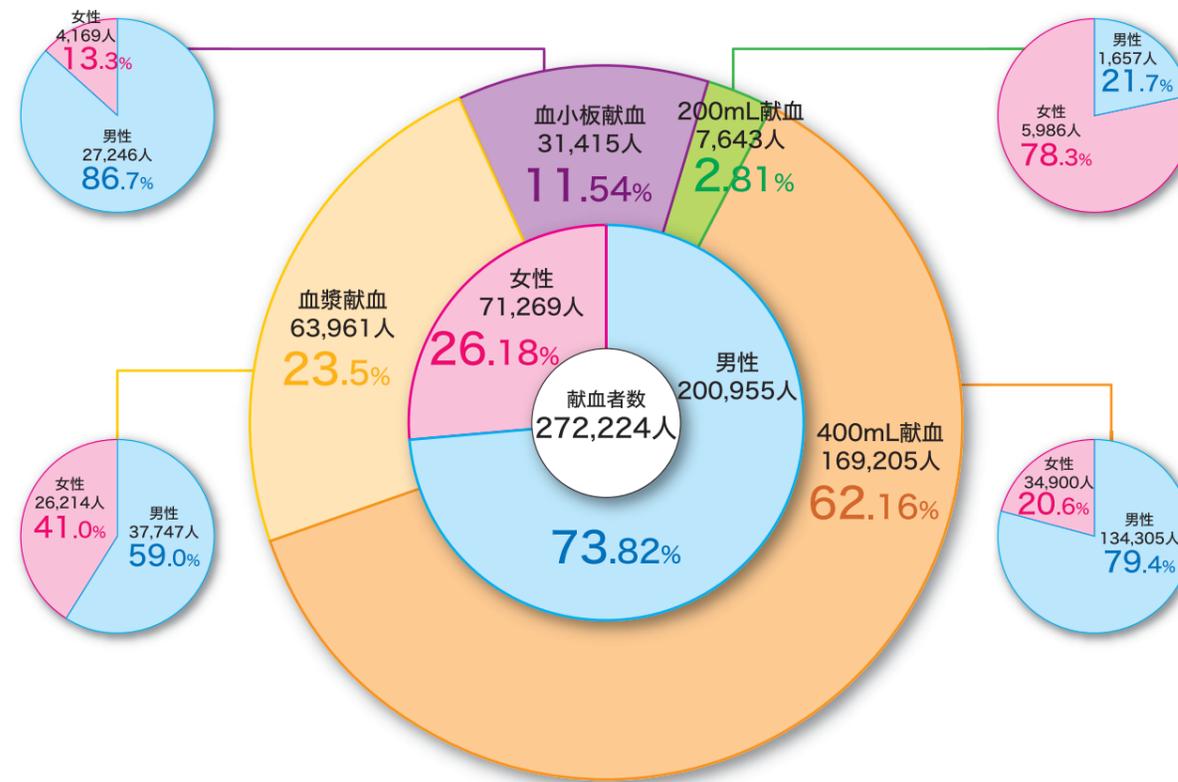
3年間で男女種別別の献血者数の推移

	200mL		400mL		血漿		血小板		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成29年度	1,657	5,986	134,305	34,900	37,747	26,214	27,246	4,169	200,955	71,269
平成28年度	1,715	6,360	135,582	33,308	33,216	24,068	31,951	5,719	202,464	69,455
平成27年度	1,993	7,715	139,287	34,706	29,250	22,765	33,826	6,693	204,356	71,879

(人)



献血種別献血者数 Blood donation type number of blood donors

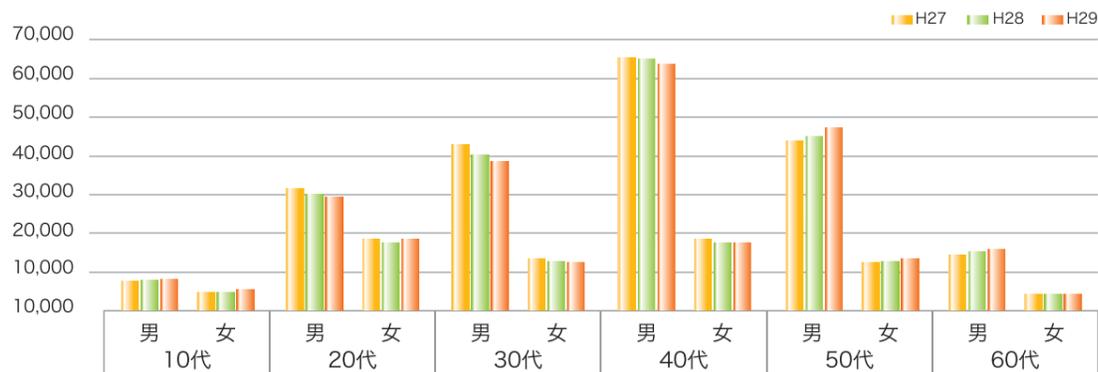


年代別の推移 Transition by age

3年間で男女年代別の献血者数の推移

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成29年度	7,895	5,318	28,984	18,376	38,125	12,329	63,187	17,321	47,115	13,567	15,649	4,358	200,955	71,269
平成28年度	7,739	4,616	29,789	17,641	40,018	12,583	64,744	17,440	44,914	12,793	15,260	4,382	202,464	69,455
平成27年度	7,481	4,671	31,178	18,628	42,643	13,308	64,979	18,348	43,806	12,493	14,269	4,431	204,356	71,879

(人)

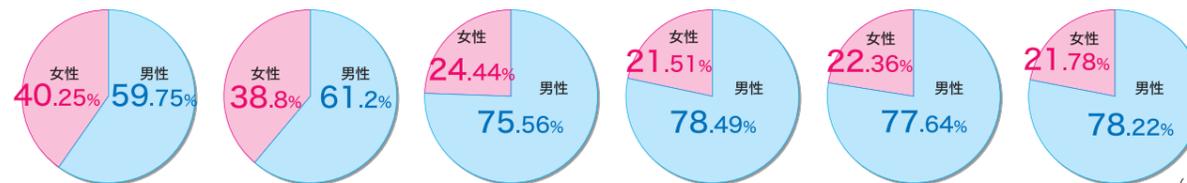


年代別献血者数 Number of blood donors by age



(人)

性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代
合計	7,895	28,984	38,125	63,187	47,115	15,649
200mL	781	260	129	214	191	82
400mL	6,174	21,928	25,915	41,328	29,923	9,037
血漿	612	4,148	7,108	12,046	9,871	3,962
血小板	328	2,648	4,973	9,599	7,130	2,568



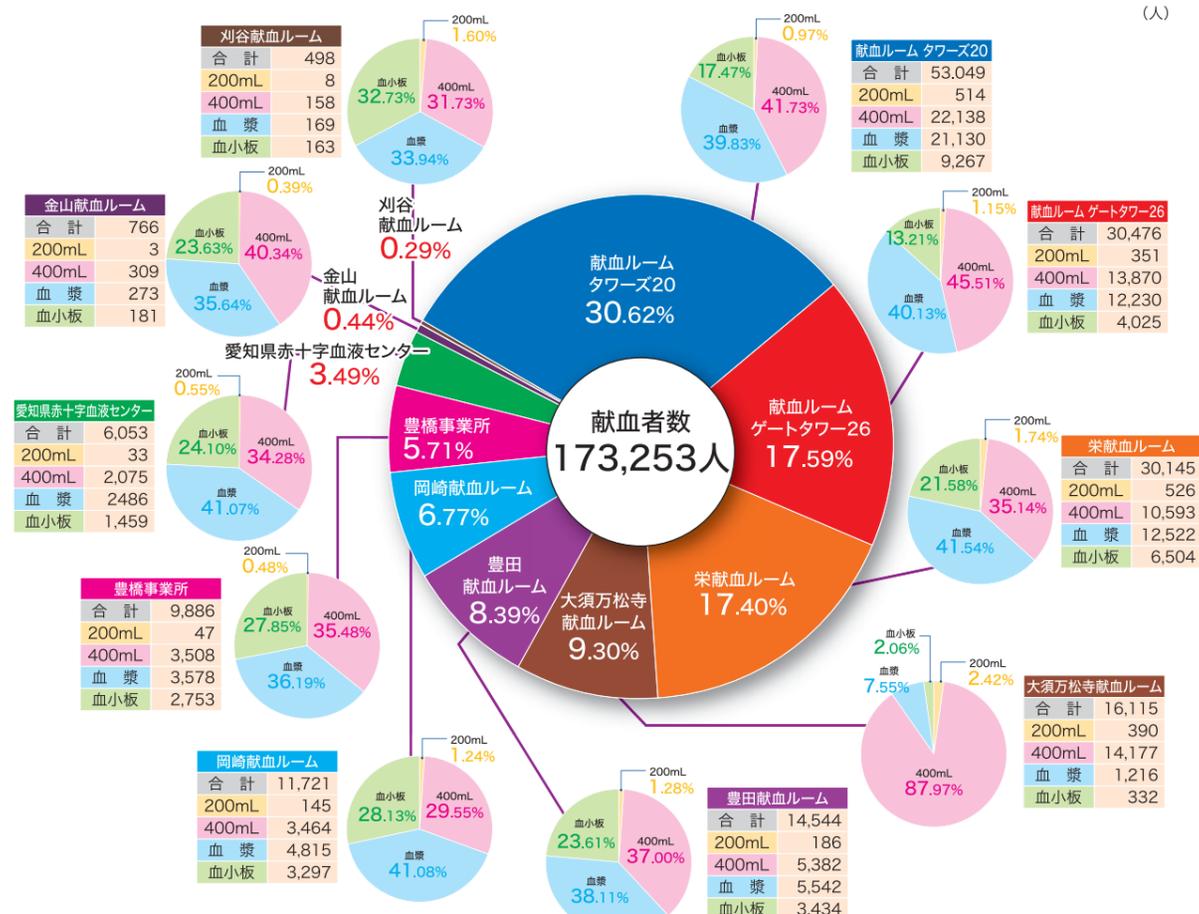
(人)

性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代
合計	5,318	18,376	12,329	17,321	13,567	4,358
200mL	1,802	1,310	761	1,064	819	230
400mL	2,126	8,381	5,637	9,289	7,181	2,286
血漿	1,286	7,652	4,961	5,538	4,935	1,842
血小板	104	1,033	970	1,430	632	0

Actual result

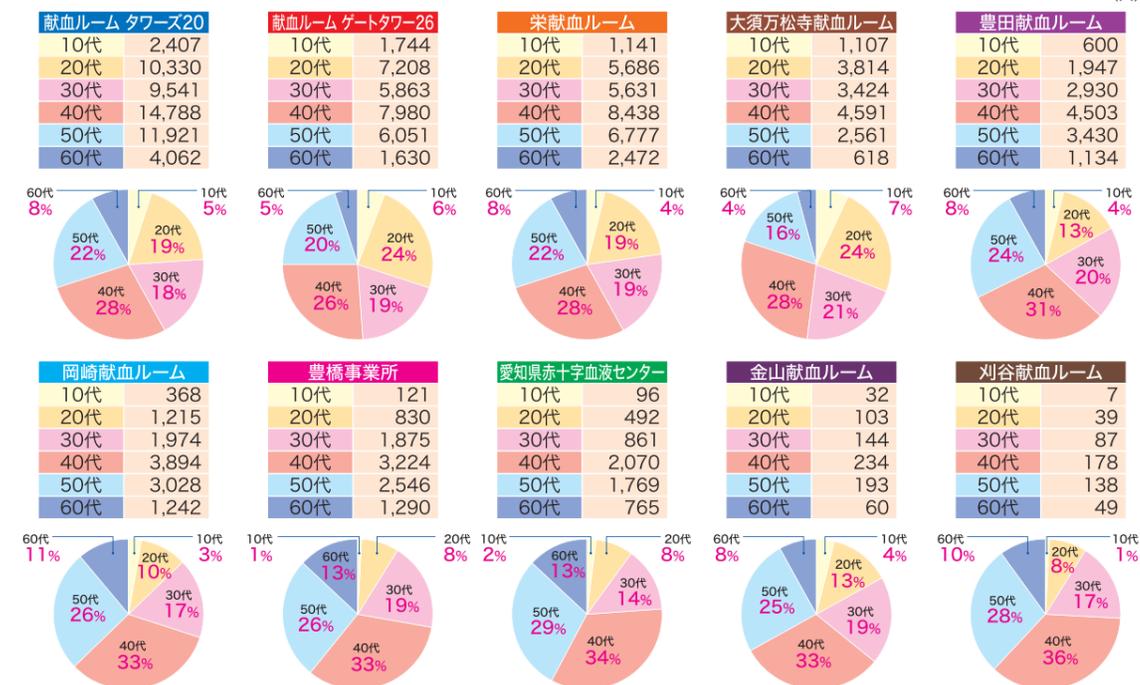
献血ルーム別献血者数

Number of blood donors by blood donation room (人)



献血ルーム別年代別献血者数

Number of blood donors by age (人)



医療機関へは成分製剤の供給が主流。

医療機関では必要な成分だけを輸血に使用するため、成分製剤(赤血球、血漿、血小板)の供給が主流となっています。

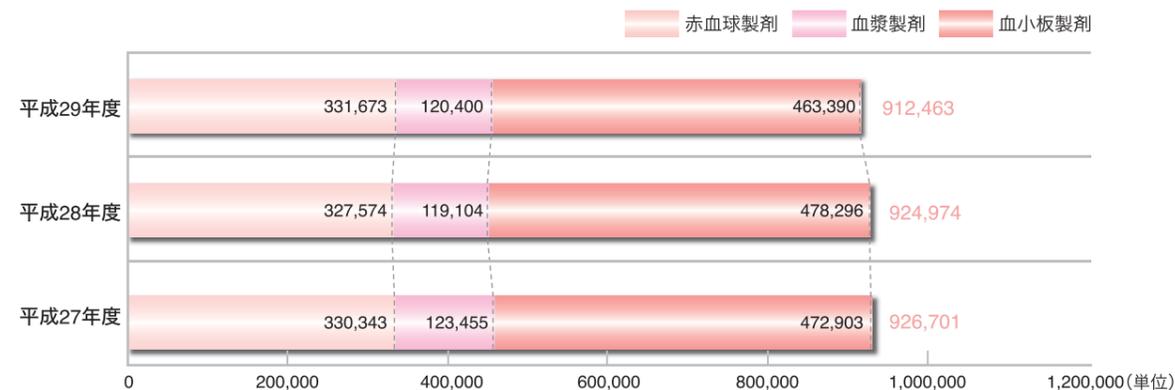
供給状況

Supply of Blood Products

供給単位の推移(愛知県)

	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
平成29年度	331,673	120,400	460,390	912,463
平成28年度	327,574	119,104	478,296	924,974
平成27年度	330,343	123,455	472,903	926,701

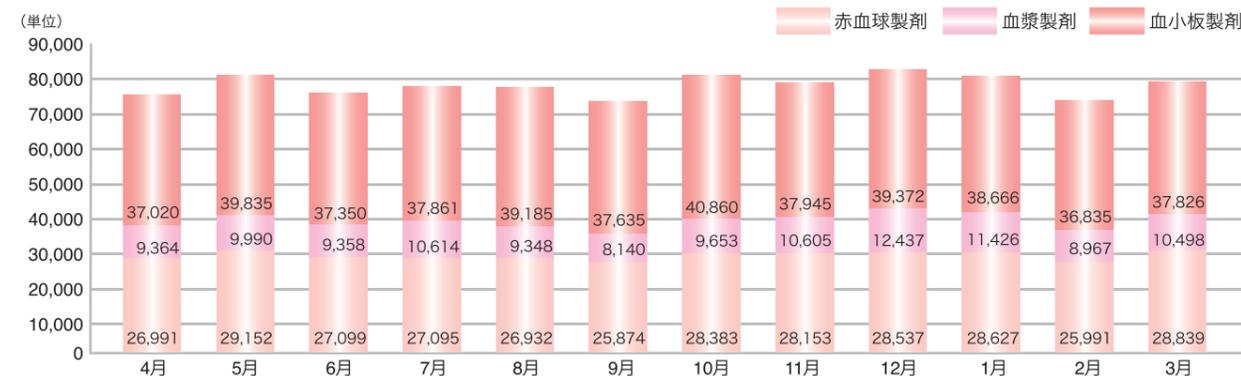
(単位)



月別供給本数(愛知県)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
赤血球製剤	331,673	26,991	29,152	27,099	27,095	26,932	25,874	28,383	28,153	28,537	28,627	25,991	28,839
血漿製剤	120,400	9,364	9,990	9,358	10,614	9,348	8,140	9,653	10,605	12,437	11,426	8,967	10,498
血小板製剤	460,390	37,020	39,835	37,350	37,861	39,185	37,635	40,860	37,945	39,372	38,666	36,835	37,826
合計	912,463	73,375	78,977	73,807	75,570	75,465	71,649	78,896	76,703	80,346	78,719	71,793	77,163

(単位)



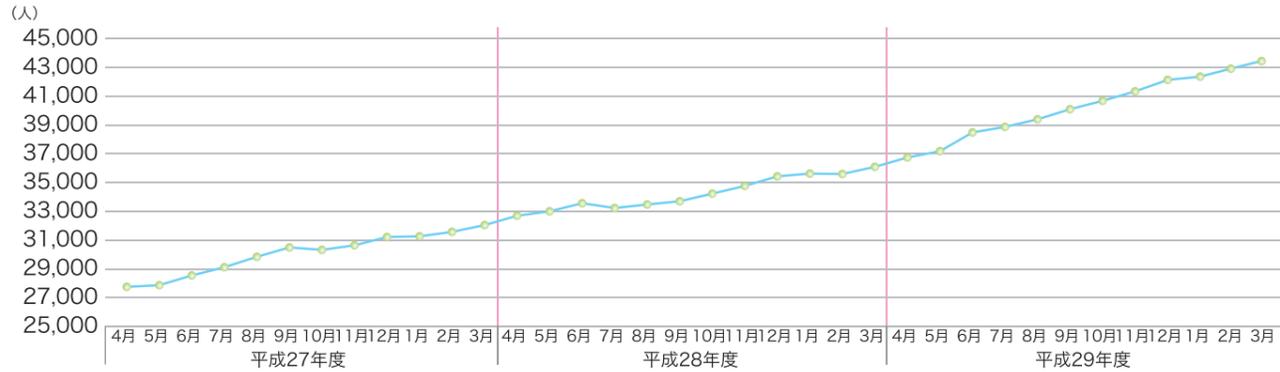
- ・本年度の全血製剤の供給はありませんでした。
- ・他センターへの需給調整本数は含まない。
- ・単位換算数: 赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位として換算したもの。
血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。
血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。
- ・血漿製剤の換算方法は平成29年度から変更したため、平成28年度、平成27年度も現在の基準で数値が変更されてます。

Actual result

□ 複数回献血クラブ Multiple blood donation club

輸血を必要とされる患者の方々は、春夏秋冬の区別なく血液が必要となります。そのため、一年を通じて常に安全な血液を安定的に確保することが求められます。安定確保するために、複数回にわたり献血のご協力をいただける複数回献血クラブの会員が必要です。登録をいただいた会員の皆さまには、メールや会報を通じて献血依頼や各種ご案内をさせていただきます。

3年間の会員登録者数の推移(愛知県赤十字血液センター登録者数)



※エラー会員や検索日によって、該当月の会員増加数が総会員数の増加数と多少異なることがあります。

平成30年3月末で43,467名

複数回献血クラブ会員限定イベント

複数回献血クラブ会員限定のイベントを定期的に行っております。

イベント実施内容

実施年月日	実施内容
平成29年 6月 3日	献血セミナーと血液センター見学
平成29年 7月23日	ヨガで夏バテ予防
平成29年 8月27日	ヨガ教室
平成29年 9月24日	チャンドラ先生のカレー作りと講演会
平成29年 10月29日	ピラティス教室
平成30年 1月27日	スマホカメラ塾
平成30年 3月11日	救急法講習会



ピラティス教室



スマホカメラ塾



献血セミナーと血液センター見学



Blood Centers in Japan

全国の血液センター

血液センターは全国各都道府県にあります。また全国を7つに分けて各ブロックを形成し、センター間での供給や情報交換を行い、地域に根ざした活動を行っています。

血液製剤を不足なくお届けするための全国のネットワーク。

日本赤十字社が血液事業を推進するために、全国に血液センターが整備されています。また各ブロックセンターでは、検査・製剤・需給管理部門の業務を行っています。

- 日本赤十字社 血液事業本部(1) (平成30年3月31日現在)
- 中央血液研究所(1)
- ブロック血液センター(7)
- 地域血液センター(47)

北海道ブロック ●北海道ブロック血液センター ●北海道	東海北陸ブロック ●東海北陸ブロック血液センター ●富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	中四国ブロック ●中四国ブロック血液センター ●鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県
東北ブロック ●東北ブロック血液センター ●青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県・宮城県	近畿ブロック ●近畿ブロック血液センター ●滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	九州ブロック ●九州ブロック血液センター ●福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県
関東甲信越ブロック ●関東甲信越ブロック血液センター ●茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県		

